**■事例検討について**

　６つのテーマについて、以下のとおり話し合いを行った。

　当日出た意見を参考に、利用者への丁寧な相談支援へと繋げていく。

|  |
| --- |
| **●テーマ：家族との関係が困難な医療的ケアの必要な利用者の支援について** |
| 課題：本人の支援に消極的な家族との関係性の改善 |
| 今後、在宅が難しくなった場合の本人の生活の場の確保 |
| 主な意見：家族に粘り強く対応していくことも大事だが、他の機関との連携なども視野にいれ対応していってはどうか。  　　　　　　　まずは、本人の意思を尊重し、今後どういう生活を送りたいかよく確認してみてはどうか。 |

|  |
| --- |
| **●テーマ：障害福祉サービス支給決定及びサービス提供事業所に繋がるまでの**  **支援について** |
| 課題：新規の障害福祉サービス利用者の支給決定されるまでに何かしらの　支援が必要となった場合の対応 |
| 主な意見：障害福祉サービス以外で、担えるものがあるか検討してはどうか。  　　　　 本人が希望する場合は、自費ヘルパーを導入する方法があるのではないか。 |

|  |
| --- |
| **●テーマ：障害福祉サービス提供者への利用者のこだわりについて** |
| 課題：思い通りにいかないと支援者に対して強い態度に出てしまう利用者への対応 |
| 主な意見：障害福祉サービス導入時に、ヘルパーの支援可能なことについて、よく話し合うことが大事ではないか。  利用者の望むサービス提供について、よく確認することが大事ではないか。 |

|  |
| --- |
| **●テーマ：精神疾患がある方の在宅生活を支える為の支援について** |
| 課題：在宅生活が継続できるように医療連携や福祉サービスを利用することで改善できることはないか |
| 主な意見：精神疾患ということで、障害福祉サービスだけでなく、医療の支援がやはり必要になってくるかと思う。事前に医療分野との関係性を構築しておくことが重要ではないか。 |

|  |
| --- |
| **●テーマ：６０歳以上の障害者の方に合った通所先について** |
| 課題：ＧＨ入居中の方で、現在就労しているが、今後体力的に厳しくなった際にどのような通所先があるか |
| 主な意見： 本人の今後の生活について、どのように過ごしていきたいか今からアセスメントを丁寧にしておく必要があるのではないか。  　　　　　 介護保険を見据えた支援の在り方も検討しておく必要があるのではないか。 |

|  |
| --- |
| **●テーマ：介護保険サービス併用利用者への対応について** |
| 課題：サービス提供に対する利用者の過剰な要求内容について |
| 主な意見：ケアマネジャーと連携して、対応をしていくことが必要ではないか。  　　　　　利用者が望んでいるサービス提供内容について、よく話しを聞くことが大事ではないか |